

令和5年4月25日

市政記者各位

福岡市福祉局

福岡 100「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」を アップデートします！

認知症になっても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまちを目指して、福岡 100 の一環として、平成 30 年度に「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」を開始しました。

これまでユマニチュード®の普及や「認知症の人にもやさしいデザイン」の導入等の取組みを進めておりましたが、さらに加速させるため、この度、プロジェクトをアップデートいたします。

市民の皆様への周知にご協力いただきますようお願いいたします。

ユマニチュードの普及に向けた新たな支援の開始

拡充

認知症の人とスムーズにコミュニケーションを図り、当事者や介護者の負担軽減につながるケア技法「ユマニチュード」について、これまで地域や児童生徒向けに講座等を実施してきました。

今後は、より幅広く推進するため、新たに企業や高齢者施設等への普及啓発に取り組みます。

企業向け講座

新たに企業向けプログラムを開発し、接客シーン等でのユマニチュード活用方法について学べる講座を展開することで、企業の認知症への理解を深めていきます。

出前形式での講座とし、受講を希望する企業を募集します。



認証取得支援の希望施設募集

日本ユマニチュード学会が実施する「ユマニチュード認証制度」の認証取得に関する助成制度を創設し、利用希望施設を募集します。

説明会や費用の一部助成などを行い、ユマニチュード普及の先進拠点となるパイロット施設の創出につなげます。

<説明会>

【日 程】 令和5年5月13日(土)14:00~15:30

【場 所】 健康づくりサポートセンター「あいれふ」(中央区舞鶴2丁目5-1)

【対 象】 認証取得を検討する福岡市内の高齢者施設・医療機関

ユマニチュードに
関する詳細はこちら→



認知症フレンドリーな商品・サービス開発支援の本格実施

拡充

これまで認知症の人と企業等との意見交換会や協働の支援を行ってきました。

今回、認知症の人が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な商品やサービスについて、開発を考える企業等を募集します。

例えば「認知症の人にもやさしいデザイン」のコンサルタントの助言や認知症当事者のモニター参加といった支援を行います。

なお、ノウハウ等の提供、認知症の人との協働については、福岡オレンジパートナーズへの参加が必要になります。



認知症の人にもやさしい園芸用品で中身が見えるよう透明のポケットにイラストを描くなど工夫を施している

福岡オレンジパートナーズに関する詳細はこちら→



「認知症フレンドリーセンター」の概要

新規

「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」の取組みを集約し、市民や企業に最新の知見・技術等を提供するとともに、取組みを国内外に発信するワンストップ拠点として、「認知症フレンドリーセンター」を開設します。

【開設時期】 令和5年9月中旬

【場 所】 健康づくりサポートセンター「あいろふ」2階

【主な機能】

学び

ユマニチュード講座やARによる認知症体験などの学びの機会提供

相談・交流

認知症の人や家族・企業等の相談・交流

支援

家族や企業等への「認知症の人にもやさしいデザイン」導入などの支援

情報発信

最新の知見や技術など認知症に関する情報発信



※「認知症の人にもやさしいデザイン」のショールームとしても活用します。

※(株)オリイ研究所の Orihime の設置を予定しています。

【問い合わせ先】

福岡市福祉局高齢社会部認知症支援課 担当 笠井、中村、住田

TEL 092-711-4790

※ユマニチュード認証の制度内容については日本ユマニチュード学会事務局まで。

TEL 03-6555-2357 (10:00~16:00)

福岡市では、人生100年時代の到来を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく活躍できる持続可能なまちを目指すプロジェクト『福岡100』を進めております。 『福岡100』WEBサイト ▶



福岡100
何歳でも
チャレンジできる
未来のまちへ

【認知症フレンドリーセンターイメージパース】

センター全体



交流スペース

